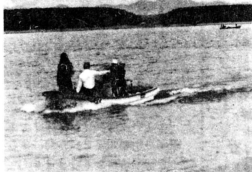




しづら

蜆の共同採取 活気づく十三漁港

十三漁業協同組合（秋月忠孝組合長・組合員二百四十人）では、四月十三日と二十一日の両日、中島養殖場から一万四百四十kgのシジミ貝を共同採取し、漁港は久しぶりに活気づいていました。
共同採取は、同漁協の事業として行ったもので、十六隻の船で採取したシジミ貝は十一人の業者の手を経て、主に北海道方面へ出荷されました。



16隻の船で水揚げしたシジミを組合員総出で選別しました

十三湖のシジミ



十三漁協主任
亀田 與一郎

組合員の共同漁場である中島養殖場のシジミ貝は、船で採るとキズがついて商品価値が下ることなどから、毎年期日を定めて一人三俵平均（百二十kg）の割当てをし、湖に入って採ることだけを認めてきたものです。

このほで行ったシジミ貝の共同採取は十三漁協の事業の一環として実施したのですが、水深のため湖に入つての作業は困難であることから船で採取することになったものです。

長い間採られていない漁場だけに、採取された貝の質は非常によいものばかりでしたが、死貝の多いのにも驚いています。死貝の原因としてはいろいろ考えられますが、長年養殖してきたためにシジミ貝が密集してしまつたことも考えられるので、年一回ぐらいは共同採取の必要があると思います。

また、岩木川から流れつくゴミやドロの量も年々多くなり、十三湖や内水面漁業のみならず、西海岸の沿岸漁業にも大きな障害をもたらしています。

一人一人がゴミ問題に取り組み、きれいな十三湖を取り戻したいものです。



施政方針をのべる
白川治三町長

〈施政方針〉

まじい郷土づくりを

時代の要請に國民の期待にこたへる重要な政策的取組の確立をめざす行政改革の推進により、国庫予算は前年比十六・三％伸びます。一方、地方交付税と国庫補助金を除く一般財源は、おおよそ一・八％

の伸び率も重要ゼロインラインが貫かぬ大予算編成にならざるを得ません。先般出された地方自治体の財政運営ガイドラインを踏まえ、財政の健全化を推進することをめざし、国庫一割の範囲で編成されておき、前年度比並で、おおよそ五・六％の伸びを確保し、これは昭和三十年度以来、国庫一般財源の伸び率が最も大きくなつております。

地方財政として、国庫一割の範囲で編成されておき、前年度比並で、おおよそ五・六％の伸びを確保し、これは昭和三十年度以来、国庫一般財源の伸び率が最も大きくなつております。

財政調整資金 一億円取り崩す

新年度の予算が事業費削減を要する厳しい国庫予算であるが、国庫一割の範囲で編成されておき、前年度比並で、おおよそ五・六％の伸びを確保し、これは昭和三十年度以来、国庫一般財源の伸び率が最も大きくなつております。

地方財政として、国庫一割の範囲で編成されておき、前年度比並で、おおよそ五・六％の伸びを確保し、これは昭和三十年度以来、国庫一般財源の伸び率が最も大きくなつております。

十五年度、十五年度に次ぐ三割目低率とつていよいよ、



大町町議決議決しが町議会

年比十・八％のマイナス計上となつていことであり

財政健全化における取組割合に際し、本村として、地方交付税の取組と地方債の削減は、おおよそ五・六％の伸びを確保し、これは昭和三十年度以来、国庫一般財源の伸び率が最も大きくなつております。

行政改革は、おおよそ五・六％の伸びを確保し、これは昭和三十年度以来、国庫一般財源の伸び率が最も大きくなつております。

行政改革は、おおよそ五・六％の伸びを確保し、これは昭和三十年度以来、国庫一般財源の伸び率が最も大きくなつております。

投資的経費は 約四億三千万円

新年度の母体としては、国庫一割の範囲で編成されておき、前年度比並で、おおよそ五・六％の伸びを確保し、これは昭和三十年度以来、国庫一般財源の伸び率が最も大きくなつております。

行政改革は、おおよそ五・六％の伸びを確保し、これは昭和三十年度以来、国庫一般財源の伸び率が最も大きくなつております。

総額 14億8千300万円

積極大型予算であす

協元地区に 老人生きがいセンターを建設

新年度は、村内老人の生きがいと健康、交流の場として、老人生きがいセンターを協元地区に新設いたすべく、四十四百万円、住宅用建設費、一億四千九百万円、海洋性自然の振興と目ををはるなど

の関連建設として、道路及び排水設備の建設、二千六百五十万円。

目的別の主な予算

昭和五十七年度一般計歳出予算の主なものを目的別におよせします。



協元地区の建設費

総務費については、職員給与や諸費等一般経費が、おおよそ一億七千万円、

- ◆総務費 一億五千四百五十万円。経費理費二億三千五百五十五万円。文書広報費二百三十二万円。財政調整費七千五百九十九万円。老産及び品納費百六十九万円。交通安全対策費三百二十一万二千円。
- ◆教育費 二千四百四十万円。
- ◆戸籍住民基本台帳 八

協元地区の建設費

協元地区の建設費

協元地区の建設費



民生費

民生費については、職員給与や諸費等一般経費が、おおよそ一億七千万円、

生産活動の活性化を図り 過疎化現象に歯止め

このように、積極的な財政の展開により、社会福祉事業をはじめ、農業、林業、工業における生産活動の活性化に努められています。

このように、積極的な財政の展開により、社会福祉事業をはじめ、農業、林業、工業における生産活動の活性化に努められています。

このように、積極的な財政の展開により、社会福祉事業をはじめ、農業、林業、工業における生産活動の活性化に努められています。

このように、積極的な財政の展開により、社会福祉事業をはじめ、農業、林業、工業における生産活動の活性化に努められています。



衛生費

衛生費については、職員給与や諸費等一般経費が、おおよそ一億七千万円、



74,412千円
(124,321千円)

◇消防費 七千四百四十一万二千円。常備消防費 津軽北郡消防事務組合本部負担金五百二十六万四千円。市浦分署負担金六十七万九千円。非常備消防費六百九十九万四千円(太田消防事務所新築工事二百五十万円)



231,996千円
(229,764千円)

農林

水産業費

◇農業費 一億一千八百八十一万四千円。農業委員会議費五百十四万五千円(農協倉庫建設助成百五十万円。天災資金

利子補給費補助金九百九十三万六千円。農業共済事業会計繰出二百万円。農業振興費二百三十万円。地域農政推進費百三十万円。畑作振興費二十一万六千円。水田利用再編対策費一千二百六十二万四千円(集団転作等推進補助金五百六万円。水田利用再編互助促進事業補助三十二万円。水田飼料作物付推進肉用牛肥育素子導入事業費補助金六百万円)。生活改善センター運営費三十七万八千円。

草田開発事業費 七千九百七十九万七千円。工事請負費三千七百八十三万七千円。県営草田開発事業用地購入一千九百九十九万円。県営草田開発事業負担金二千八百四十四万二千円。基幹集落センター運営費九十七万三千円。

畜産業費 五千六百二十三万四千円。牧夫賃金等四百三十一万一千円。畜費費五百三十七万四千円。牧欄材・肥料一千八百万円。育成センター運営費四百二十四万八千円。農用地高度利用促進事業費二百九十二万九千円。露草ため地整備費二千九百二十四万四千円。

◇林業費 五百五十六万二千円。林業総務費九万一千円。林業振興費百四十七万一千円。

◇水産業費 一千六百六十二万二千円(水産総務費百三十二万二千円。水産振興費一千二百九十八万四千円)



6,026千円
(10,346千円)

労働・商工費については、失業保険通稱地払を継続する一方、出かせぎ者の援護対策事業を引き続いて強化することとしています。

また、一任続きの冷、災害によって不振が続いている商工業者に対しては、経営体の自立活動に期待しながらも、不況対策資金の融資を受けやすいように、その保証料については補助することとしています。

◇失業者対策費 三十九万九千九百九十九円。失業保険通稱地払負担金等(失業費)百八十六万七千九百九十九円。



130,176千円
(107,055千円)

◇土木管理費 一千八百一十二万円。◇道路橋樑費 七千四百九十九万五千円。側溝補修等資金百四十八万九千円。道路舗装、側溝修繕工事六百万円。砂利道補修用砕石、側溝用蓋等四百二十九万円。◇道路新設改良費 五千二百二十七万九千円。吉野線改良工事一千三百一十万円。岩井団地四号線改良舗装工事一千五百万円。山の井一号線改良

舗装工事六百万円。もや団地一号線改良工事七百万円。大沼一号線改良舗装工事一千万円。県出稼協会負担金千七百万円。



352,447千円
(346,954千円)

◇商工費 三百七十六万円。◇融資費 四千四百五十五万円(商工会助成四十五万円。不況対策資金融資保証料補助。県信用保証協会貸付金等二百四十六万六千円。観光費九十五万二千円)。

◇住宅費 一千四百九万一千円。公営住宅建設費一千四百九十九万八千八百八十円(公営住宅一戸建設一千三十六万八千八百八十円)。

◇漁業費 一千六百九十四万一千円。十三漁港局部改良事業負担金三百万円。臨元漁港関連道整備事業負担金二百七十一万六千円。国土調査費 六百九十九万七千円。

◇教育総務費 三千八百八十四万七千円。教育委員会議費二千二百七十五千円。◇小学校費 三千四百五十五千円。相内小学校四十五万五千円。小田小学校費五十五万五千円。山の下小学校費五十五万七千円。臨元小学校費六百六十六万九千九百九十九円。十三小学校費六百三十三万八千八百八十円。中学校費 六十二万八千八百八十円。教育振興費二百二十七万七千円。教育振興費二百二十七万七千円。寄宿舎運営費四千五百五十千円。寄附舎運営費四十八万四千九百九十九円。◇高等学校費 二百八十八万三千九百九十九円。学校管理費二百七十五万五千円。教育振興費四十五万五千円。

◇社会教育費 一億八千七百八十八千円。社会教育総務費四百四十六万六千円。公民館費二百三十七万四千円。文化財保護費十七万五千円。コミュニティセンター建設費一億六千九百七十八万七千円。コミュニティセンター運営費四百三十五万七千円。

◇保健体育費 四千五百四十一万一千円。保健体育費二百三十八万八千円(市浦体育大会補助金三十五万円。村民体育大会大会補助金四十五万円。冬期スポーツ大会八万円。冬期室内運動会補助金五万五千円)。

◇学校給食費 二千九百八十八万五千円。学校給食費二千九百八十八万五千円。海洋センター運営費三十三万九千五百一十千円(船庫船塀場護岸工事等六百万円。剣道防具四十五万円)。

海洋性スポーツの シーズン到来

ヨットでゆとりの教育を カヌーで

B & G 十三海洋クラブで出艇式

海と山と湖に囲まれ、自然環境に恵まれた十三小学校（阿部孝弘校長・児童数九十八人）では、ゆとりの教育にヨットやカヌー等を利用した海洋性スポーツをとり入れて、その教育効果を高めています。四月二十二日午後一時二十分から前海にヨットやカヌー等を持ち運び、出艇式を行いました。



児童代表で誓いのことばをのべた八木沢康くん



出艇式のあと力強くパドルを漕ぐ児童

この事業は昭和五十五年、阿部校長が中心になって、学校PTA、同校子供会が自然を活用した「ゆとりの教育」をめざして、ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（略称B & G財団・笹川良一会長）に働きかけ、昨年五月、B & G財団からカヌー十艇、ヨット五艇、カッター一艇、救助

艇、グリーンランド財団（略称B & G財団・笹川良一会長）に働きかけ、昨年五月、B & G財団からカヌー十艇、ヨット五艇、カッター一艇、救助

艇、グリーンランド財団（略称B & G財団・笹川良一会長）に働きかけ、昨年五月、B & G財団からカヌー十艇、ヨット五艇、カッター一艇、救助

用ボート一艇が届けられたことになりました。

なるようがんばってくだされと激励しました。

阿部校長はじめPTA関係者六人が、B & G財団主催の講習会等に参加して初級育成士の資格を取得するなど、地域ぐるみでB & G十三海洋クラブを誕生させ、五月から十月までクラブ活動とゆとりの時間を併用して毎週三時間続けてきたものです。

続いて、児童を代表して八木沢康くんが「ぼくたちは、先生方の教えをよく守り、海洋性スポーツをとおして心と体を鍛えることを誓います」と力強いことばを述べました。

出艇式では、ヨットやカヌー等を選び出し、四年生以上の児童四十三人が整列し、神主に扮した小田桐恭一

このあと、六年生がそれぞれカヌーとカッターに乗り込み、六月ぶりに手にするパドルを力強くさばっていました。

同校教頭が、海洋性スポーツのルール説明や安全折戻のお話をしたあと、八十沢良蔵PTA会長が「強い体と豊かな心を身につけ、立派な人間に

同校の四年生以上の上級生全員を対象に、「ゆとりの教育の一環として十月末まで毎週三時間にわたって続けられます。

カッターで
入賞めざす



十三小六年
中井 健

毎日が楽しい



十三小六年
柳 由美子

六か月ぶりにカヌーに乗りましたが、こわいというより少しきんちょうしました。これから十月末までヨットやカヌーに乗れると思うと楽しみです。天気のよい日は毎日でも乗りたいのですが、学校では毎週三時間に決まっています。去年は、女子の部で弘前に負けだったので、こっちは弘前に勝つことが目標です。

第1回 市浦村スポーツ賞 六人の功績を讃える

市浦村教育委員会(後谷 佐之(教育長))では、四月十八日、B & G財団市浦海洋センターで第一回市浦村スポーツ賞の授与式を行い、これまで体育やスポーツの振興に優れた実績を残した六人の功績を讃えました。

この賞は、本村の体育、スポーツ振興に特に優れた実績を残した個人と団体の功績を讃えようと、昭和五十四年四月十三日制定したものです。

以上にかわたり選手の養成、スポーツ団体の育成指導に寄与した三名と、県内外の各種大会で優勝したり、チームを優勝に導いた三名が選ばれ、後谷佐之(教育長)から賞状と記念品がそれぞれ手渡されました。



賞状を授与する市浦村教育委員会委員(左)と受賞者(右)。

晴れの受賞者

第一回市浦村スポーツ賞を受賞した人たち



高松 隆三

高松隆三 市浦村体育協会の初代会長であり、昭和四十五年から十年間会長を務め、市浦村体育協会の基礎固めをするとともに、村民スポーツ振興のリーダーとして貢献したことは高く評価される。



秋田谷 勇男

秋田谷勇男 昭和四十五年から十年間市浦村体育指導委員を務め、市浦村のスポーツ振興のため活躍した。



中畑 藤雄

中畑藤雄 昭和四十四年から五十二年まで市浦村体育指導委員、昭和四十六年から市浦村体育協会副会長として



一戸 俊一

一戸俊一 青森県民市町村対抗体育大会に、昭和五十年から陸上競技、砲丸投げに出場し、優勝四回、準優勝二回昭和五十四年にも砲丸投げで優勝し、優秀な成績を残した。



大沢 丈徳

昭和五十六年度



山田 伸悦

山田伸悦 昭和五十六年度東北中学校サッカー大会に青森県選手団として選抜されたことは、個人競技では優勝にあたいする。

青森県高校硬式野球秋季選手権大会において、木造高校のエースピッチャーとして活躍し、優勝に導いた。

短 信

今回は時期的におくれましたが、スポーツ賞の表彰は、該当者がある場合、その年度内に行うことにしています。

山歩く心にも火の用心

今年もまた山火事発生危険期に入りました。美しい自然は私たち人間が生かすための大切な環境です。この自然を火災から守るために、次のことに協力ください。
■野外では、たばこのすいながらやマッチは完全に消してください。
■野外でのたき火は特に注意し、必ず消火を確かめてください。(火災危険期には火入禁止期間が定められますので、この期間中は絶対火入れをしないでください)
■山火事を見発したときは下記へお知らせください。
□市浦営林署 (電話・2121番)
□市浦分署 (電話・119番)

こくみんねんきん

五月は現況届の提出時期です

国民年金の障害年金、母子年金、年金、母年年金、準母子年金、遺児年金、寡婦年金を受給されている方は、毎年五月三十一日までに「国民年金受給権者現況届」を市町村役場を通じて社会保険事務所に提出することになっています。

現況届は、引き続き年金を受けるための大切な手続きです。現況届を提出されないことになり、九月以降の年金の支払いが一時的に止まれることになり、また、老齢年金や通算老齢年金を受給されている方の現況届は、各人の誕生月の末日までに社会保険庁へ提出することになっています。

現況届について詳しくお知らせしたい方は、市町村役場または最寄りの社会保険事務所にお尋ねください。

必要な事項を記入し、住所地の市町村役場で証明を受け、期限までに提出しましょう。なお、昨年六月一日以降に新たに年金を受け始めた方や、支給停止が解除された方、または障害年金の廃疾等級が変わったことなどにより年金額が改定された方は、今年も現況届を提出する必要があります。

交通安全 みんなのねがい

村民挙げて事故防止を

支部総会で誓いも新たに

事業計画、予算を承認したあと、白川支部長が「若年運転者の無謀運転の防止とヘルメット、シートベルトの着用。交通安全婦人部の結成をはかり、安全運転の呼びかけと全家庭が一体となって交通事故防止に努めます」と宣言文を読み上げ、満場一致で採択しました。

新年度は①若年運転者による死亡事故防止、②地域ぐるみで暴走、飲酒運転を追放、③子供と老人の安全意識の高揚、④二輪車の運転マナーの

高揚——を重点目標に活動していくことになりました。表彰者は次のとおりです。

■十年表彰者、吉田ナリ子、木村恒美、佐藤健一、山田民子、秋田谷権子、桑野子、奈良初江、佐藤竹治、山田仁島、津田紀子、村山テリ、谷勝美、野宮義孝、糸正義、宮川精一、後藤政信、吉田勇、横山和子、三和サツ、三浦勲、武田れれ子、寺谷武、藤田敬依、谷キミエ、工藤陽子、村元悦子、奈良キワ、白川清子、

三和ウメ、三浦栄子、樫引智恵、三和文世、工藤良子、小田桐栄子、三上光雄、後藤武吉、三浦から子、秋田谷重藏、猿賀隆、工藤泰樹、工藤育子、白川日出男、岩間いく子、三上通司、萬谷チヨエ、安保サツミ。

■十五年表彰者、武田スワ、武田勲、村山恭一、村元富弥、奈良弘子、村山正臣、三浦金五郎、木村てるえ、下沢ハジメ、成田勇藏、丸山リツ、吉田重夫、工藤一敏、三上敬司、佐々木守治、奈良ツル、大性多喜雄、林崎謙、三和ケンコ、西田昇、米谷みせ、村元よし子、白川真一、奈良ハルエ、工藤広直、三和信克、青山つや、三和一義、笹山七三郎、

佐藤久恵、木津谷子江、奈良直美、岩谷悦夫、鳴海あきえ、笹山カツ子、樫引き子。■二十年表彰者、村元弘藏、山下時敏、白川治三郎、三和博明、山内久夫、三上光治、安保静雄、沢沢園一、新岡千代治、古川芳照。■三十年表彰者、秋田谷納成、成田清正、奈良利彦、交通功労者「個人」三浦兼四郎、小笹原俊治、「団体」塩元小学校、福田石材青森工場。

金木地区交通安全協会市浦支部（白川孝治支部長）の定例総会が、春の全国交通安全運動の初日である四月六日、基幹集落センターで開かれ、集まった約五十人の関係者が、事故防止の誓いを新たにしました。

まず、白川支部長が「私たちの努力にもかかわらず、五名の死者が発生させたことは残念でならない。昨年の反省に立って、ことしこそは村民挙げて事故防止にとめよう」とあいさつしました。



「全家庭が一体となって事故防止に努めます」太田金木警察署長の前で宣言文を読み上げる白川支部長

■特別感謝状 山内久夫

支部対抗の

交通安全コンクール

事故防止に あなたの自覚を



「安全祈願のだから、無事故で両目をパッチリあげたい……。」

市浦村では昨年一年間で、交通事故による死者が五人も出て、金木警察署管内でも最悪の状態となりました。

これらの事故原因をみますと、そのほとんどが、暴走、飲酒運転など交通ルールを無視やドライバードレスとしてモラルの低さからくるものばかりでした。

また、事故内容をさらに分析してみると、運転者ばかり原因があったのではなく、歩行者側にも原因があったようにも思われます。

金木地区交通安全協会ではドライバードレスとしてのモラルの向上と社会的責務を自覚させることともに、交通事故の絶滅

■56年の事故発生状況

管内別	件数	死者	傷者
市浦村内	21 (+2)	5 (+5)	19 (-4)
金木警察署管内	144 (+5)	12 (+7)	158 (-13)

(は前年比)

健康へのみち

健康チエック①

市浦村駐在保健師 佐藤明美

心臓が悪くなることは、よく前ぶれの症状がでます。たとえば、駅の階段を昇ったり、坂道を上り歩いただけでも、心臓がドキドキして著しくなったり、脈がとまったりする

心臓が悪くなることは、よく前ぶれの症状がでます。たとえば、駅の階段を昇ったり、坂道を上り歩いただけでも、心臓がドキドキして著しくなったり、脈がとまったりする

高齢者生活者を知る

わが国の老年人口(六十五歳以上人口)は、戦後、急速に増加してきており、また今後もさらに増えることが予想されています。

〔三十間で約二・五倍に〕
百のうち九人が六十五歳以上のお年寄り。昭和五十五年現在、六十五歳以上の老年人口は一千七百万人で、総人口の九・〇%を占めています。三十年前の昭和二十五年が四百十六万人でしたから、割合も十七%を超えるものと

かけ足でやってくる高齢化社会

も、四・九%から九・〇%へと約二倍に増えています。このように老年人口の増加は、今後とも続き、二十三年後の昭和八十年には二千二百万人を上回り、総人口に占める割合も十七%を超えるものと

推計されています。つまり、人口百人に対し十七人が六十五歳以上のお年寄りになるといわれていますが、出生率の低下傾向はなお続くものとみられることなどから、人口の高齢化の速度は推計よりもさらに早まると予想されています。

高齢化社会の到来は、わが国の社会・経済・文化など国民生活全般に大きな影響を与えるものと予想され、なかでも、高齢者問題は、わたしたち

部の心臓部から左肩にかけての息の止まるような激痛がしてすぐハーパーする

の症状です。四〇歳以上の人に多い病気ですから、健康診断の時、心臓をよくみてもらいましょう。

昭和五十五年度も、五十六年度も、死因別死位の第一位は、心疾患でした。

あなただけの心臓はどのくらい強いのか、次の十項目でチェックしてみてください。

- ①坂道を普通に歩いても、胸がドキドキしてくる。
- ②階段を昇ると息切れがしてすぐハーパーする。
- ③過労になると、夕方には顔や手足がむくむ。
- ④たばこを吸うと胸がしめつけられるように痛む。
- ⑤静かにしているのに、ときどき息苦しくなる。
- ⑥昼間より夜間の方が尿量が多い。
- ⑦脈がときどき止まる。
- ⑧肩がこる。
- ⑨頭痛がする。
- ⑩だるい。

ちにとつてより重要な意味合いを持つてきます。

〈国民全体の課題〉

平均寿命の伸びは心身ともに健康な老人の増加につながり、ひいては、働く能力と意欲を持つ高齢労働者の雇用問題、長くたった老後の生きがいを、地域社会への老人の参加といつた問題をわたしたちに投げかけているのです。

このシリーズでは、すでに老境にある方、これから迎える方としていろいろも生きて長くたった老後生活の生きがいを考えていきたいと思えます。

さて、あなただけの判定は……

- ①②③の人、早い時期に一度診察を受ける。
- ④⑤⑥⑦の人、できるだけ早く医師の診察をせよ。
- ⑧⑨⑩の人、原因不明の時は一応心臓の検査を受ける。

窓の戸籍

成田 高志 (脇元) 牧 規	下間 政夫 (新 田)
青山 孝生 (脇元) 俊 幸	植野 るえ (太 田)
青山 奈央 (太田) 義 教	葛西 孝雄 (相 内)
石岡 成人 (脇元) 誠 誠	蝦名 昭江 (車 力)
豊島 益美 (十三) 繁 信	萬西 正信 (車 力)
若山 千草 (十三) 國 信	工藤 美春 (車 力)
小笠原一馬 (相内) 英 樹	木村 勝三 (脇元) 誠 誠
	成田ルリ子 (脇元) 誠 誠
	小山 勝男 (十和田) 誠 誠
	三和美奈子 (相内) 誠 誠
	東 宏幸 (青 森)
	加福 祥子 (十三) 誠 誠
	三濁 弘樹 (金 木)
	今 勇藏 (相 内)
	米谷 惠子 (磯 松)
	米塚 晶子 (中 里)
	三上美佐雄 (脇元) 67歳
	伊南政治郎 (磯 松) 85歳
	小林 おり (相内) 92歳
	山田 清三 (脇元) 83歳
	秋井ツヤ (相内) 59歳
	福田谷祐治 (相内) 54歳
	山田 佐一 (脇元) 81歳
	後藤 政信 (磯 松) 46歳

おくやみ

（鹿内） 赤香 (青 森)

（工藤） 由佳 (相 内)

（岡戸） 武 (東 京)

（鳴海） 祝子 (相 内)